

# なかしゅんぱ



第8回豊原音楽祭が12月18日(日)に旧豊原小学校で開催されました。

サンタの衣装を着た可愛い園児たちや、オオカミ覆面バンド、弾き語りなど子供から大人までリズムに合わせた手拍子で終始会場は大盛り上がりでした。



## 2月号

2017 Vol. 469



平成28年度  
第8期みらい塾修了式



1月13日、平成28年度第8期修了式・平成29年度第9期入講式が開催されました。

学んだ知識を活かし、  
さらなる酪農発展のために

担い手後継者を対象としたみらい塾は今回で8回目を迎え、今回修了となる第8期生は5人の受講生のもと1年間、全20回にわたって講座を受講し、農協運営事



業をはじめ酪農技術や農場視察を通して経営管理について学んできました。

当日は、お世話になった関係機関の根室農業改良普及センター、根釧農業試験場北海道酪農検定検査協会根室事業所、ジエネティクス北海道道東事業所、北海道ひがし農業共済組合、(有)中春別マシンセンターの来賓の方々のご臨席の中、出席をした5人の修了生は小

湊塾長より修了証書を受け取りました。その後、小湊塾長より「講師となっていたいただいた関係機関の皆様には、改めて厚くお礼申し上げます。修了生の皆様はみらい塾で得た知識と仲間との絆を大切にし、将来の酪農発展のために日々努力し、地域と酪農を支える人物になつていただきたい」と挨拶を

いただき、続いて来賓を代表して根室農業改良普及センター佐藤所長より「修了生の皆様にはみらい塾で得た知識と、ともに講義を受けた仲間との繋がりを大切に、これから農業を担っていく存在になつていただきたい」とお祝いの言葉をいただきました。

その後、修了生を代表し



て豊原地区の青野大地さんから「この1年間、みらい塾を通して農協の業務、酪農の基礎知識や農家さんへの視察に行き、酪農に対する意識がより一層深まりました。また、かけがえのない仲間たちとともに過ごした時間は何物にも代え難い思い出となりました」と挨拶がありました。



## みらい塾を終えて



中西 裕哉

みらい塾に1年間通わせてもらい長いようで短く、あっという間でしたが、いろいろな牧場を見学させてもらったり講義があったりととても充実した時間を過ごせ

たと思います。  
私がみらい塾に入ろうと思った動機は、農協組織や仕組みについてわからなかったことが多かったので、いい機会だと思い入講しました。講義は月に1〜2回くらいで牧草収穫時期は講義がなかったのほとんど休まずに受講することができました。

して改めて知ることができました。講義では、農場視察が多く地区内の優良農家がたくさん視察させてもらいました。どの視察も参考になる取り組みから勉強になる話を聞かせてもらいました。地区外の視察もあり江別にあるカーム角山牧場では、最新式のデラバルのロボット牛舎とバイオガスプラントを視察し、上春別地区の橋本牧場では草地管理等の話を聞かせてもらいました。講座では普及員による

施肥設計の仕方、考え方を教わりました。特に印象に残っている講座は共済の獣医師によるサルモネラ症についてです。症状からその後の対策、終息までの被害額の大きさなどを教わり、畜舎や環境衛生的に保つことが大切なのだと改めて思いました。

きた1年でした。これからも勉強会や視察に積極的に参加し多くのことを勉強してこれからの酪農経営に活かしていきたいと思えます。  
今回、みらい塾を通してお忙しい中、講師として講義をしていただいた農家さん、農協職員さん、関係機関のみなさんありがとうございました。そして、みらい塾という場を設けてくださった農協関係者、担当の赤井さん、目黒さんに感謝したいと思えます。

## 貴重な体験をした1年間



小林 義敬

私の家は非農家でこれまで牛に接したことはありませんでした。一昨年の11月まで別業種でサラリーマンとして10年働きましたが、サラリーマンとしての未来より酪農家としての未来に魅力を感じ、酪農の道を選び

ました。酪農について初心者の方にとって、みらい塾はすべての内容が新鮮でとても勉強になるもので、酪農について幅広く見聞きできるととても貴重な1年になりました。農協などでの座学や工場などの視察も月に2回ほど開講されましたが、各月に数件ごと地域の農家さんの視察を行わせていただき、地域ではどのような営農が行われているか見学させていただきました。この見学ではほかの農家さんで取り入れている、自分の家より優れていると感じられ

る部分を沢山吸収でき、どのような方が地域で営農されているのかを知ることができ、その農家さんの営農ポリシーを聞いたことで自分の家と全く違った角度での物の考え方を知ることができ、酪農のやり方は一つではないと知見を広げることができました。  
江別市まで泊りがけで遠征し、視察したロボット搾乳は、昨今の人材不足に対する解決策のとても有力な手段の一つであると同時に、機械とコンピュータで牛群を管理するということは、

その機械とコンピュータを人が管理しなくてはならないことに他ならず、上手くやらなければ手間が増えてしまうだけであるということに危機感を覚えました。しかし、同時に遠い将来、遠隔搾乳や遠隔給餌などの技術が確立され、距離の離れた複数の牛舎、牛群を1カ所で管理できるような仕組みにまで進化するのではないかと、将来像が思い浮かびました。故障したり問題の生じた拠点だけスポットでエンジニアを派遣して、問題を解消するようなコン

トラ業種が生まれてきてても不思議ではないと思えます。もちろん今の時点では考えられないことですが一つの可能性としてあり得るのではないかと考えられるようなロボット牛舎の視察でした。  
生乳の流通ルートの話や乳代の仕組みは、全く知らなかった内容でしたので、すべてが理解できたとは到底言えませんが、とても勉強になりました。これら視察や座学を受けるたび、私以外のみらい塾メンバーは皆酪農家の出身でしたので、酪農についての知識の差は



歴然としたものであると実感しました。話ししている内容についていけないこともしばしば。しかし、わからない単語が出てきたときなど、私が質問した時にたとえそれが基本的なことでもとても親切に教えてくれた

## みらい塾を終えて



青野 大地

自分はこの1年間、みらい塾を通して酪農に関しての知識や技術など様々なことを学ぶことができ、自分自身の成長につながったと思います。農協の仕組みなど普段なかなか学ぶことのできないことから農場や酪農に携わる会社の視察など、とても充実した内容だったと思います。自分自身基本的な知識、技術もまだまだ足りていないのでそういうことも学ぶことが出来て良かったと感じています。

その中でも特に農場視察

ことは、前業種との大きな差で感動すら覚えました。この出来事は他のメンバーは幼いころから何かしらつながりがあるメンバーですので、私だけ部外者という気持ちから少し解放もされました。また、地域の雰囲気

はとても勉強になりました。今までも農場視察の機会はありましたが、この1年は多くの農場を集中的に視察することができて様々な酪農経営のスタイルを学ぶことが出来たと思います。どうしても自分の家の農場、酪農経営を基準にそれが当たり前になっているところがあるのでは、他農場を実際に自分の目で見て経営者の話を聞くことよって気づかされること、本当にいろいろな考え方があり、ということが改めてわかりました。育成の育て方一つにしても考え方が違いますし、こだわるポイントもそれぞれあったりと視察をしていても面白かったです。それに良いところだけでなく苦労したところや失敗したところ、酪農を経営していく上

が少し感じ取れたように思えますし、同じ地域の仲間であるという意識が強いように感じられました。みらい塾で将来の担い手と同じ時間を過ごせたことはとても有意義です。みらい塾は少人数の集まりなの

でのアドバイスなども話していたいただきとても参考になりました。経営の優れている農家、乳質の優れている農家、草地管理の優れている農家など視察させてもらいましたが、どの農家さんでも当たり前のことをちゃんとしている上で自分の考え、こだわりを持って酪農経営をしているのだなと思えました。自分自身将来どのような酪農経営をしていきたいと思いますかまだ決まっていますか、従業員を雇っての大規模経営、家族経営、放牧主体の経営、搾乳ロボットを導入しての経営など様々なスタイルを見てきて自分の中で酪農というものの幅が広がったように思います。そしてみらい塾を通して人間関係の幅も広がったと思います。食事のときなど

でよそから来た私でも輪の中に入りやすく、このような機会がなければ話さなかつたような内容も話せたように思います。みらい塾の目的は知識の集積ももちろん目的としてありますが、仲間づくりがとても大きな目

塾生同士気づいた点を話し合ったり、情報交換したりと交流を深めることが出来ました。それに農協職員に講師の方々、視察先の農家さんなど関わる機会が増えて自分自身の人間関係がどんどん広がっていったと思います。人と人とのつながりを大切にしていって、一緒に酪農を盛り上げていきたいなと思います。

それと今回昼食に白樺食堂を利用する機会が多かったのですが、肉井など思いのほか美味しく白樺食堂の良さにも改めて気付かされました。

最後にみらい塾にかかわってくれた農家さん、講師の方々、関係者の皆様に本当に感謝しています。まだまだ未熟者ではありますが、みらい塾で得た経験を活か

的であると最初のオリエンテーションで話されました。その目的は十分に達成できたように思います。文末ではございますが、みらい塾でお世話になった皆様にごこの場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございます。



し、情熱と向上心を持って将来の地域の担い手になれるように頑張っていきたいと思えます。なので、これからもご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。



## 1年間のみらい塾を終えて



森 友佑

私にとつてみらい塾での1年間はあつという間でも短く感じました。

私は、高校卒業後に苫小牧で2年半会社員として働き、就農後に酪農の勉強をするために、別海高校農業特別専攻科で2年間酪農について学びました。そして、もつと知識や技術の向上とともに農協をはじめとする

## みらい塾を終えて



島崎 和成

私は、みらい塾に入ってからこの1年間でとても貴重なことを学ばせてもらうことができました。その中

関連機関の業務や仕事内容を理解したいと思ひ、みらい塾に入構させていただきました。また、この機会に同業者とのコミュニケーションを増やし、受講生の中で様々な意見交換をできたらと思ひました。みらい塾の受講生は5人のうち4人が農業特別専攻科で同級生だったこともあり、いろいろな話を講義の際にできる、良き仲間だったと思ひます。みらい塾の1年間の受講の内容では、とても幅広く多くの農場を視察し多くの事を学ぶことができました。私たちが酪農経営は様々な関係機関の方々との関わりがあり、経営の支援をしてくださる

で印象に残っているのが、中標津の雪印メグミルク工場に視察に行ったことで、自分たちが生産した牛乳がどのように加工または流通されているのかを実際に見ることができて、乳製品に対する興味や関心を深めることができました。また、それによつて生産者としての責任を感じることもできました。次に印象に残っているのが、

農協の方々については各業務の内容を各部署ごとに教えていただき、農業簿記のやり方など様々なことを教えていただきました。改良普及センターや根釧農業試験場の方々からは、乳牛の飼養管理や草地の植生改善と維持管理について、共済組合の方からは乳牛の疾病や治療方法、ジェネティクス北海道の方からは家畜の改良や増殖について、雪印メグミルクの方からは私たちの生産する牛乳の加工や流通について学ぶ事ができました。そして、日々私たちが安全な牛乳を出荷できるように乳質検査を行ってくれる酪農検定協会の方、こうい

札幌研修で行ったカーム角山さんです。ロボット搾乳牛舎を見せてもらうことができ、最新の酪農施設の凄さを肌で感じ、また、ロボットならではの美しい点も知ることができ、とても勉強になりました。また、様々な場所へ視察に行かせてもらいましたが、私の中で特に勉強になったのが優良な経営をされている

たたくさんの関係機関の方々の支えがあり、私たち酪農家の経営が成り立っていることがわかりました。また、農場視察については優良経営農家それぞれのやり方やこだわり、工夫がありとても勉強になりました。中でも視察先の農家さんとはとても牛体や牛床が綺麗で、乾燥していることが印象強く、こうした飼養管理を行い、牛や自分にとつても良い環境をつくっていくことが、より良い経営につながるのではないかなと感じました。みらい塾として初めて他農協の農場を視察させていただいた事もとても良い経験になりました。この先、私

る牧場へ視察に行けたことでした。どの農家さんにも特徴があり、やり方や考え方も様々ありましたが、全体を通して思ったのが、草のことも牛のこともどの部門であっても、真剣に研究されて取り組まれていると思ひました。また、具体的な面で言うと草地更新をちゃんと良い草を収穫することの重要性を改めて考

ちが経営者に近づくとともに、現在は乳価も引き上げになり個体価格も高止まりしてきますが、酪農情勢はいつ厳しくなるかわかりません。このみらい塾で学んだことを忘れず我が家の経営に取り入れられる事は取り入れ、これからの仕事に励み、経営基盤の強化、しっかりとした経営の土台をつくりていきたいと思ひます。

最後に、この1年間を通して、こういつた機会がなければ学ぶことのできない貴重な体験をさせてもらうことができ、これを今後どう自分の経営に活かしていくかを考えていきたいと思ひます。

この1年間、講師をしてくださいました関係機関の方々、農家の方々、農協の職員の方々には大変お世話になりました。



# 将来の経営のために学び、人とのつながりを大切に仲間づくりをしていきたい



第8期みらい塾修了式終了後、平成29年度みらい塾の入講式が行われ、新たに第9期生として4人の塾生が紹介されました(塾生の長沼さんは都合により欠席)。

小湊塾長より激励をいただき、根釧農業試験場草刈場長より「みらい塾での1年間を大切にし、酪農の知識はもろん、人とのつながりを大切に、仲間づくりをして、希望に満ちた1年間にしてほしい」との激励をいただきました。

その後、第9期生を代表して美原地区の馬場絵里さ



んより「みらい塾での1年間を通して、酪農の基礎知識、酪農技術について学び、将来



の経営に役立てていけるようしっかりと学んでいきたいと思えます」と意気込みを語っていただきました。

その後、9期生は昼食を挟み、団地センター研修室にてオリエンテーションを行い、館内営農部長より、受講に当たっての心構えや受講内容についての説明を受

けました。そして、みらい塾で学びたいことを塾生同志で話し合い今後について決めました。

代表選出により大内友里さんが第9期生代表に決定いたしました。

今後みらい塾では1月から12月の間、定期的に行われる講座を通して、農協運営事業、農場視察といった内容について学ぶことになります。



# みらい塾第9期生。プロフィールをご紹介します

## 豊原地区

名前 奥山 優雅

(おくやま ゆか) (31歳)

奥山和組合員後継者



生年月日

昭和61年12月29日

みらい塾に応募したきっかけ

農協の方にみらい塾のことを聞いて

趣味

料理

好きな言葉

「なるようになる」

将来の夢

良質な牛乳をしぼる

皆さんに一言

開講式からもう楽しいです。1年間楽しく皆さんとたくさんの方とを学びたいと思います。よろしくお祈りします。

## 美原地区

名前 長沼 真奈美

(ながぬま まなみ) (37歳)

長沼徹組合員配偶者



生年月日

昭和55年10月29日

みらい塾に応募したきっかけ

農協の方に声をかけていただいて応募しました

趣味

ショッピング・家庭菜園

好きな言葉

二期一会

将来の夢

いつも笑っていられるあたたかい家庭

皆さんに一言

みらい塾でいろいろ勉強できるのを楽しみにしています。理解するのに時間がかかる方ですがよろしくお祈りします。

## 美原地区

名前 馬場 絵里

(ばば えり) (32歳)

馬場聡一郎組合員配偶者



生年月日

昭和60年6月1日

みらい塾に応募したきっかけ

牛の事をもっと勉強したいのと、他の農家さんはどういう経営をしているのか知れたかったため

趣味

旅行・お菓子作り・パン作り・バイク

好きな言葉

「ありがとう」

将来の夢

世界を旅行すること

皆さんに一言

1年間どうぞよろしくお祈りします。

## 美原地区

名前 大内 友里

(おおうち ゆり) (30歳)

大内昌美組合員後継者の配偶者



生年月日

昭和62年5月22日

みらい塾に応募したきっかけ

馬場さんに教えてもらいました

趣味

音楽をきくこと

好きな言葉

子供からの「ママだいすき」という言葉

将来の夢

子育ても酪農もできる母になりたいです。

皆さんに一言

北海道に来てまだ分からない事だらけですが、いろいろと教えて下さい。牛の事も別海の事も。宜しくお願いします。





## 第65回全道JA青年部大会

# Exciting Innovation 夢のある農業へ!

全道大会の大会スローガンは、「Exciting Innovation」  
夢のある農業へ!」と題され、全道JA青年部組織の結束  
強化と活動の促進を図り、JA運動の推進と部員家族の社  
会的経済的地位の向上に寄与するため、全道JA青年部大  
会が開催されています。



全道各地から800人以上、当青年部から兼松真武部長、松井和孝部員、森友佑部員の3人が参加いたしました。

大会では、「青年の主張」活動実績発表」が行われ、各地域の代表が盟友との活動を通して感じている想い、これからの目標などの発表が行われました。また、「分科会」では各分野に分かれ講師を向かえ米や畑作の他、酪畜では株式会社ファームノート社長小林晋也氏が講師となりファームノートを活用した牛郡管理についての講演が行われました。

金井憧れ氏による「あぐり王国北海道NEXTを通して感じたこと」と題して、あぐり王国を担当して農業の知識が増えている食材への気なく食べている食材への意識が変わつと話されました。また、「PRのコツなどありますか?」という質問に対しては「もっとPRしたい事、物などを前に前に出しても良いと思います」と回答しました。全体を通してこれからの営農、青年部活動に対してとつても良い刺激になりました。

全体懇親会では、「ファームレスリング大会」「純農ボーイコンテスト」が行われ、純農ボーイには、森友佑部員が得意なけん玉を披露し全盟友と交流を深めました。



2日目にはHBC「あぐり王国北海道NEXT」のほか、テレビやラジオのニュースを担当してい



# 農水省担当からの情報と意見交換、他県の酪農仲間とつながりをもつ貴重な研修

毎年開催されており、根室地区JA青年部幹部研修が、1月16日より18日の3日間の日程で管内12人(根室地区協議会2人、中春別2人、標津1人、中標津1人、道東あさひ4人、けねべつ2人)が参加し、当青年部から片岡卓也監事、林恒雄部長が参加し1日目は農水省との意見交換会、2日目は東北・北海道地区JA青年部大会に参加いたしました。



## 農水省へ要望と意見交換

初日からいきなり荒天に翻弄されつつ、たどり着けるか不安を抱きましたが、



なんとか無事に中標津空港より千歳経由で羽田に到着し予定通り農林水産省へ。生産局畜産部の大野部長を始め、担当職員の方々と日頃より現場の最前線の私たちに労いの言葉をいただき、一番気にかけているクラスター事業への事、これからの

## 平成28年度根室地区JA青年部幹部研修に参加して

情勢、新規事業や要望などで予定していた時間をオーバーしてしまいましたが、熱心に私たちの意見に耳を傾けてくださいました。

意見交換の後に場所を移し、農水省の職員の方々と親睦

会を開催、現場の仕事の話から、私生活までと多方面の話題に花が咲く親睦会となりました。

## 東北、北海道地区JA青年部大会へ

2日目は札幌プリンスホテルで開催される東北・北海道地区JA青年部大会へ参加。東北6県と北海道の7カ所を持ちまわり開催のため7年に1度の北海道開催。盟友365人が出席する盛大な大会でJA青年組織の存在意義、若手農業者の熱意、力強さ

を感じる事ができました。夜の部の情報交換会では、他県の盟友と営農スタイルの違いに、新たな刺激とカルチャーショックを受け、なかなか経験することのできない貴重な機会となりました。全行程2泊3日と短期の研修会でしたが、管内盟友と現場の声を届けることができたこと、農水各担当の貴重な意見を聞く事ができ、これからの酪農経営、青年部活動に生かせる糧となる、有意義な研修となりました。また、管内盟友との親睦も図ることができ、酪農の仲間として、これからも繋がりを持つきっかけの貴重な研修となりました。





# 新年最初の行事は、笑いの絶えない 素敵な時間となりました!

女性部  
新年会

別海町ポルシエにて1月25日(水)に女性部新年交流会が開催されました。



伊藤会長の乾杯で女性部新年会が始まりました



挨拶を述べる齋藤部長

農協より小湊組合長をはじめ、酪対より伊藤会長をJA地区女性協より畠山会



新年の挨拶を述べる小湊組合長

長を招いての開催となりました。部員22人が新年の挨拶を交わし、豪華なごちそうを前に小湊組合長より挨拶を賜り、伊藤会長の乾杯で新年会がスタート。食事がひと段落したところで恒例のゲーム大会が始まり、値段当てゲームでは正解の数十円差まで迫る回答が! 会場からは歓声と拍手がこりました。

こりました。ババ抜き対決では、最後までババを持っていた人が勝ちという変則的なルールで、



部員同士心理戦をしながらのゲームは白熱し最後にババを持つていた人は「やったー!!」と喜びの声をあげて景品を獲得していました。最後は恒例のビンゴゲームを開催し、全員がハズレなしで景品を獲得することができました。新年最初の行事は最後まで笑いの絶えない素敵な時間となりました。参加された皆さんお疲れ様でした。





# ポイントを押えた 乳房炎対策を③

乳房炎は、乳牛の生産性低下に伴う経済的損失だけでなく、作業者の精神的ストレスにつながります。限られた労働力や作業環境のなかで乳房炎を予防するためには、主に右の3つのポイントが大切になります。

乳房炎対策の最終回は「乳牛の健康」について取り上げます。



## 健康な乳牛には病原菌もかなわない

乳牛が健康であれば、たとえ乳房内に病原菌が侵入しようとしても、免疫によって撃退することができます。免疫とは、①粘膜②抗体③白血球の3段階で構成されています。粘膜は病原菌の侵入を防ぎ、抗体と白血球は侵入してくる病原菌を撃退します。

栄養が不足し、肝機能が弱まっていると、第1段階の粘膜免疫機能の低下から病原菌が侵入しやすくなり、抗体や白血球で撃退しきれず、疾病に罹患してしまいます。

## 乳牛にとってのストレスとは？

乳牛がストレスを感じると、免疫は低下してしまいます。ストレスは、具体的に次のようなものがあります。

### (1) 削瘦、過肥、乾物摂取量の不足

栄養素の不足は免疫力の低下に直結します。分娩時の過肥は、分娩後の乾物摂取量の低下を招き、体脂肪動員によって肝機能を低下させます。

### (2) 不快・不衛生な環境

暑さ、寒さ、汚れ、渴き、汚れた空気、寝起きしづらいベッド、恐怖、過密、群の変化など、牛を取り巻く環境が不快・不衛生だとストレスになり得ます。

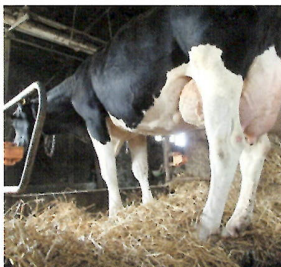
### (3) 不良発酵サイレージ

酪酸、硝酸態窒素、カビ毒、過剰な溶解性タンパク質(SIP)などを分解するために、多量のビタミンが消費されてしまいます。また、採食量不足により肝機能が低下し、疾病発生への影響が懸念されます。



## 乳房内に病原菌を侵入させない

衛生的で、ストレスの少ない牛舎環境の例を示します。



敷料が豊富で牛体がきれい



明るく衛生的な牛舎



ゆったりと休めるストール

牛にとって快適な環境を整え、できる限りストレスを無くすことが乳房炎への感染を減らす近道です。H28年度発行の営農改善資料「乳房炎を予防しよう」に詳細を掲載していますので、再度ご確認ください。





例年より降雪が早まり寒さが厳しくなってきたなか、旧豊原小学校体育館では12月18日(日)第8回豊原音楽祭が開催されました。

当日は保育園児から小中高生やお父さん・お母さん、学校の先生など豊原に縁のある方約50人が集まり盛大に開催されました。

飯田先生によるソロギター・中春小リコーダー同好会による演奏や、全道大会への出場曲・ピアノ演奏や先生方によるピアノや唄が披露され、前半の部が終わり、後半の部

では、今回2回目の出場となる子供たちに大人気のオカミ覆面バンドや、ピアノ演奏・サポート協議会研修生2人による引き語りや、大迫力の「響青乱太鼓」、ピアノ&ギター演奏など子供から大人までリズムに合わせた手拍子で会場が大盛り上がりとなりました。

最後は9人による、ギター！ベース・ドラム・トランペット・キーボードなどの楽器を使ったバンド演奏でした。TOKIO「花唄」やウルフルズ「ガッツだぜー」などを披露し、世代を越えてみんなが楽しめる曲で会場を湧かせ、第8回豊原音楽祭が幕を降ろしました。

サンタさんの衣装に包まれたかわいい保育園児たちによる  
ハンドベルと  
ピアノ  
カ演奏、  
2人1  
組のダンスが  
披露され、決めのポーズ☆メリークリスマス☆



子供から大人까지 みんなで楽しんだ豊原音楽祭



# 写真コンテスト結果発表

中春別乳牛改良同志会(竹田潤会長)主催で行いました第33回写真コンテスト予想投票には、多数の応募をいただき大変ありがとうございました。

序列付けを(一社)ジェネティクス北海道道東事業所業務課戸田篤司様にお願ひし、**正解は、D→A→F→C→B→E**となりました。

残念ながら全問正解者はいませんでした。抽選の結果、佐々木舞子さん、中野まどかさん、中田亜土武さん、根本祐輝さん、真部更紗さんに賞品を贈呈致しますのでJA中春別畜産課畜産指導係までおこし下さい。

## 《講評》

未経産牛6頭ということで、D→A→F→C→B→Eという序列にさせて頂きました。

トップにしたD号牛ですが、この6頭の中で最も体のバランスが良く、また体長、体高に優れた牛であると思います。2位にしましたA号牛と比較しましても、顔の輪郭の鮮明さ、背腰の強さ、飛節の鮮明さにおいて優っていると判断し1位とさせて頂きました。

A号牛とF号牛の比較ですが、A号牛のほうがより体の長さそして首から肩、中軀への移行がスムーズであり、背腰が強いと判断したため上位とさせて頂きました。

F号牛とC号牛の比較ですが、F号牛のほうが首の長さにおいて優っていました。また後肢における踏み位置が正確であったため、この序列とさせて頂きました。

C号牛とB号牛の比較ですが、C号牛のほうがより首が鮮明であり、体全体の質感、特に皮膚被毛の柔らかさにおいて優っていると判断致しました。

最後にB号牛とE号牛の比較ですが、B号牛のほうがより肋の方向や尾付きの良さにおいて優っていると、この序列にさせて頂きました。

今回、私のような未熟者に講評させて頂く機会をいただき、大変感謝しております。写真コンテストを審査させて頂くのも初めてであり、拙い講評になってしまいましたが、この経験を今後さらに活かして勉強していきたいと思っております。

ありがとうございました。

1位D



2位A



3位F



4位C



5位B



6位E





大体6時前には終了し、その後は夕食、自由時間となりました。

生活していて、NZの風景はどことなく北海道に似ているなど感じました。しかし道が広く、草地も勾配が急なところが多かった印象を受けました。森林にはブナなどの大きな樹木の他に、シダ類・コケ類が密集し、大自然のパワーに満ちあふれていました。



ナショナルパークにて

#### 研修を終えて

今回の実習を通して、まずNZの酪農のスケールの大きさに圧倒されました。「百聞は一見に如かず」といいますが、実際に自分の目で見て1つ1つの光景に驚かされました。

実習中、仕事や生活に慣れるにつれ、規模も経営体系も違うNZの酪農に触れて改めて酪農の奥深さ、おもしろさを感じました。NZ酪農はNZならではの土地、気候、歴史があるからこそできているのであって日本ではまねできるものではありませんが、その国の土地、気候に適したやり方があるのだと思いました。また放牧のノウハウや草地の管理、パドックのローテーション、牧草の生育などの話は参考になり、とても興味深かったです。ただ、英語で伝えることが難しく、また相手が話していることを理解することも難しく、英語をもっと勉強しておけばよかったと思いました。また、実習内容に関しては、先述の通常業務以外にも任される部分が多く、発情の同期化(PG投与の補助)、カウコンフォートに関する修理・管理全般、酪農ディスカッションへの参加など多岐に渡り、その経験が自信となりました。



仕事後みなさんとミーティング

このNZ研修を通して、酪農の奥深さを知ることができ、また海外生活を通して、他国の人と出会って共に過ごしたことによって人間的にも成長することができたと思います。

最後に、今回お世話になった農場の方々、現地エージェントの杉本さん、別海町酪農後継者を育てる

会、別海高校農業特別専攻科、両親、研修にご支援ご協力いただいた皆様はこの場を借りて心からお礼を申し上げます。

報告者：農業特別専攻科2年

下元 翔太

#### ●【経営科】東北道実績発表大会に出場

1月19日(木)～20日(金)に、東北道学校農業クラブ連盟実績発表大会が帯広農業高等学校を当番校に開催されました。大会当日は十勝、釧路、オホーツクから9校10クラブ166人が参加し、全38発表がこの1年間の研究や活動の成果を競いました。本校は酪農経営科I類、II類、クラブ活動発表にそれぞれ1発表ずつ3発表を行いました。発表に参加した3つのグループは惜しくも全道大会出場を逃してしまいました。生徒は、結果を残せず悔しい思いをしました。来年度へ向けて研究活動の充実を図り、結果が伴うよう活動を盛り上げていきたいと思えます。

#### ●【経営科】ミルク&ナチュラルチーズフェア2017に参加

帯広藤丸百貨店にて、ミルク&ナチュラルチーズフェア2017が開催されました。本校からは2人の生徒が1月22日(日)に参加し、実習で製造したヨーグルトを販売しました。



生徒によるプレゼンテーション

このフェアは牛乳普及協会の主催で牛乳や乳製品の消費拡大を目的に開催されており、当日は大変多くのお客様で盛り上がりおりました。



販売の様子

本校が用意したヨーグルトは酸味や風味などが好評で開店後1時間ほどで完売させていただきました。また、付帯イベントの一つとして行われた活動紹介の時間には、別海町の酪農や、本校の乳加工などの取り組みを多くの来場された方に紹介しました。道内各地から出店された他の工房の製品を間近に見て、その商品数やパッケージング、販売方法などに生徒は大いに刺激を受け、今後の大きな目標を見つけることができました。

今後も、ヨーグルトやチーズなど乳製品の製造研究を進め、別海町の酪農の振興に貢献していきます。



# 北海道別海高等学校 酪農経営科・専攻科だより

## ●【専攻科】ニュージーランド研修から帰国しました

平成28年9月30日～12月5日までの67日間、農業特別専攻科学生1人がニュージーランド(NZ)研修に参加しました。以下はその報告です。

今回の研修では、オークランドからバスに6時間ほど乗り、実習先の農場があるオハクネという町に行きました。オハクネは山の近くにあり、標高が800～1000mあります。

今回お世話になった農場は草地在が400haほどで放牧地兼一部採草地として使われており、100以上のパドックに分けられています。搾乳牛約690頭、育成牛約200頭を飼養しており、NZでは中規模の農場になります。農場を仕切っているのはリサさんという女性の方で、従業員はリサさんの息子さん、マオリ人の男性、フィリピン人の男性、ニュージーランド人の女性が働いていました。その他、大学の実習生などが短期研修で来ていました。

牛はフリージアン種(ホルスタイン種)が大部分を占めており、あとはジャージー種、キークロス種を飼養していました。

飼養形態としては常時放牧を行っており、私が行った時期には放牧地にカルシウム、マグネシウムなどのミネラルを添加したサイレージやロール、PKEといったサプリメント



空港での出発式



オハクネ近郊



牛を横断させているところ



子牛の哺乳の様子

も給与していました。

牛群は経産牛、初産牛、足の悪い牛や乳房炎に罹患した牛の3群に分けられていました。経産牛と乳房炎罹患牛は朝晩の2回搾乳で、初産牛と足の悪い牛は朝のみの搾乳でした。

乳房炎罹患牛は非常に少なく、搾乳牛690頭中に抗生物質による治療牛は5頭程度でした。

子牛は生後1週間くらいは簡易の育成舎で飼養し、その後子牛用のパドックに放し、哺乳とパルプ(ペレット状)飼料を与えていました。生後3ヶ月くらいで預託し、種付け後に自分の農場へ戻ってきます。NZの牛は日本の牛よりもかなり小さく、成牛でも日本の育成牛ほどの大きさでした。



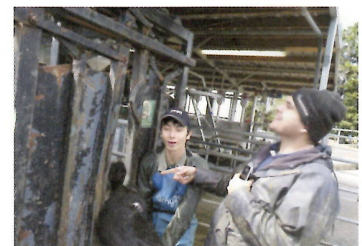
ニュージーランドの成牛

1頭あたりの平均乳量は15kgほどでした。NZでは日本と違い、乳価を乳固形分【ミルクソリッド】の割合で算出します。平成27年度当初の乳価は乳固形分1キログラム当たり、2017年1月現在4.25NZドル(319円)ですが、8月には4.75ドル(356円)まで上昇するのではないかと予想されています。乳脂肪は平均4.5%、乳タンパクは平均3.7%程度で、体細胞数は約18～19万でした。



一緒に仕事をする仲間達

搾乳施設は片側44頭を収容出来、ヘリンボーン式のスイングパーラーでした。11月1日から授精が始まり、毎朝の搾乳中に発情の発見をし、搾乳後に人工授精師による人工授精が行われていました。



治療牛を保定する仕事

実習中の主な仕事は搾乳、搾乳舎の洗浄、人工授精のサポート、子牛の給餌で、日中は生まれた子牛のピックアップ、除草剤散布、農場内の片づけ・清掃などでした。子牛が成長してくるとグループごとにパドックへ移動させる作業も行いました。午後の仕事は



# 新たな農業委員会制度が始まります!

農業委員会制度の改正(農業委員会等に関する法律の一部改正)

## 改正により29年7月の 農業委員改選方法が変わります!!



### 1. 法改正の目的

国が進める規制改革実施計画に基づき、農業の成長産業化を図るため、農業協同組合、農業委員会及び農業生産法人に関する制度の一体的な見直しを行い、農業委員会は、農地等の利用の最適化の推進(①担い手への農地利用の集積・集約化、②遊休農地の発生防止・解消、③新規参入の促進)に重点を置き、これらの業務を積極的に展開することが目的とされています。

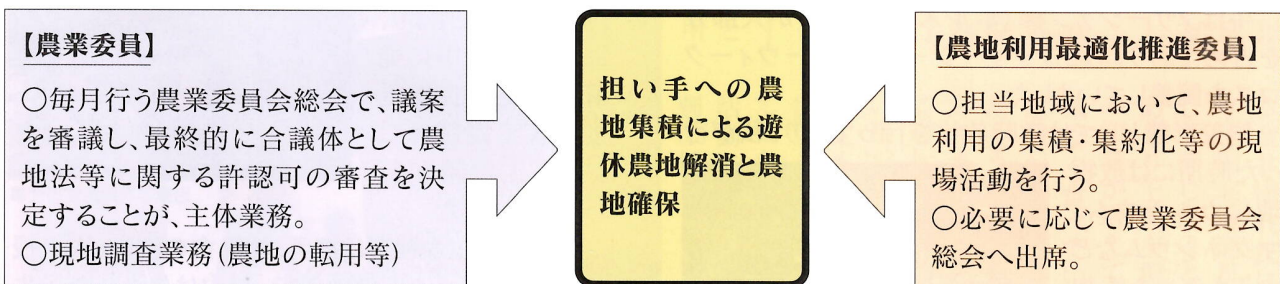
### 2. 制度改正の主な内容

	改正前	改正後
選出方法	・選挙制と市町村長の選任制(議会・農協等)の併用	・選挙制が廃止され、地域からの推薦及び公募により募集し、町長が任命(議会同意が必要)する方法に変わります。
農業委員の条件	・30a以上耕作している農業委員選挙人名簿登録者	・農業者に限定する規定はありません。ただし原則、過半数は認定農業者等であることとされています。 ・農業者以外の者で、中立公正な判断ができる者を1名以上委員とすることとされています。
農業委員の定数	・選挙委員20人 ・選任委員4人(議会・農協等団体)	・市町村長による選任委員 委員数は27人を上限に、条例で定める人数となります。
農地の集積・集約化の促進	・任意義務	・必須業務

### 3. 新制度への移行に向けたスケジュール

- ①平成29年1～3月 制度への対応等に伴う周知を実施します(選出方法の変更などを説明)。
- ②平成29年4～5月(概ね、1カ月程度の期間) 新たな委員の推薦・募集を実施します。  
また、応募の状況を整理し、町ホームページ等で公表します(中間、終了後の2回)
- ③平成29年6月 別海町議会定例会で町議会の同意を得ます。
- ④平成29年7月20日(新体制への移行日) 町長の任命による、新しい農業委員会が誕生します。

### 4. 農業委員と農地利用最適化推進委員(新設)との役割の違い



※別海町農業委員は、農地利用最適化推進委員を委嘱しないことができるため、推進委員を兼務する体制とし、委員数は(区分:農業者の数が1,100以下、または農地面積1,300ha以下の場合を適用)27人としています。



ちょ貯つと見て！

JAバンクの本気力

# Spring campaign

2017 スプリングキャンペーン2017  
期間 2/1水 5/31水

## 春のスタートをJAバンクが全力応援!!

### キャンペーン 1

JAで給与受取口座を新たにご指定いただくと

応募者  
全員に

QUOカード  
5,000円分



※QUOカードのデザインにつきましては、実際のものとは異なる場合がございます。

#### 応募条件

##### 給与受取口座の新規指定

【対象者】2017年2月から6月に新たにJAで給与受取口座を指定し、いずれかの月において5万円以上の給与のお受取りが確認できたお客様。  
【応募方法】窓口でお申し込みする専用応募ハガキまたはwebよりエントリーが必要です。

### キャンペーン 2

定期貯金・定期積金を一定の条件でお預入いただくと

コンサドーレ  
2017シーズン  
レプリカユニフォーム 20名抽



デザインは  
選んでから  
お楽しみ!

抽選で  
100名  
に

どちらか選べる



オリジナルデザイン  
QUOカード  
10,000円分

さらに同時に総合口座を新たに開設すると

応募者  
全員に

ゆめびりか  
(150g×3パック入り)



※デザインにつきましては、実際のものとは異なる場合がございます。

【応募者】応募条件を満たしたお客様(中途解約された場合は当選の権利を失います) 【抽選時期】新正な抽選のうち、「選べるプレゼント」抽選のご案内をさせていただきます。【抽選について】当選発表後、いずれか希望の商品をお選びいただきます。【コンサドーレ2017シーズンレプリカユニフォーム】の新着数が20名枠を超える場合には抽選となり、希望に届かず、(QUOカード10,000円分)を代わりに送付させていただきますこととあり得ますので、ご了承ください。

注意事項 ※ご応募は個人の方に限ります。 ※当選後の権利の譲渡または換金することはできません。 ※都合により賞品の仕様変更となる場合がございます。 ※長期不在などでお届けできない場合は、当選を無効とする場合がございます。 ※今回お預入された定期貯金または定期積金を中途解約された場合は当選の権利を失います。 ※当選に関する個別のお問い合わせはお受けできません。 ※ほかのキャンペーンとの併用はできません。

好評  
取扱い  
中

## 北海道 コンサドーレ札幌通帳

※取扱JAは、JAバンク北海道HPにてご確認ください。

JAバンク北海道は、  
北海道コンサドーレ札幌を  
応援しています!



詳しくは、お近くのJA窓口までお気軽にお問い合わせください。  
http://www.jabank-hokkaido.or.jp

JAバンク北海道

検索





# JAグループ通信

## ここだけは知っておきたい『農協改革』 ～クミカン制度は維持されました～

平成28年11月11日に、政府の「規制改革推進会議（農業ワーキング・グループ（以下、WG））から『農協改革』への意見が発表され、大きく報道されました。  
『農協改革』を巡る一連の動きについて、組合員の皆さんに関係の深い「クミカン制度」を中心に整理しましたので、ご覧ください。



テレビや新聞で通り、「農協改革」の報道がされていたけど、2年前にも同じような議論を受けてJAは已改革を実践中だよ。  
民間団体のJAにここで改革を押し付けて来る。規制改革推進会議の農業WGってどんな組織で、おらいほどにはあるんだらう？



規制改革推進会議は総務大臣のアドバイザー的な機関で、議論した内容を総務大臣に見せしめる組織上、農業WGは、「農業の成長産業化」を目的に農業関係の規制をテーマに話し合っている。  
背景には、JAから信用・融資・販売などを分離させてシェア拡大をねらう「グローバル企業」と、「在日中国企業（通称）」のそれぞれの意向があるのよ。



農協改革で全農一社に統合されたら、  
売って日本市場に参入しよう！  
JAが持つ「第1歩」として、JAの信用事業は  
農協改革にどうなる？



規制改革のねらい



ねらいはJAを解体して銀行や大企業、外国企業の参入を促すことにあるんだね。  
農業の成長産業化と書うけど、利用者の組合員や地域のみなさんが置き去りにされて、誰のための改革なんだらうね。

平成28年12月に、11月の「農協改革」を巡る一連の経過について、「クミカン制度」を中心に整理した組合員向け資料「ここだけは知っておきたい『農協改革』」クミカン制度は維持されました。」を作成しました。  
本資料は農協に改革を迫る議論の背景や、存続が決まったものの一時は廃止が提言された「クミカン制度」の重要性を、対話形式で表現しております。

## JA北海道中央会

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。  
JA北海道大会決議事項の実践やその時々の特ピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。  
各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。



## JA北海道信連

JAバンクを多くの人に知ってもらうため、昨年11月に札幌駅前地下歩行空間でPRイベントを行いました。  
「ドダウン貯蓄キャンペーン」の宣伝や、ちよりスによる「旗揚げゲーム」、コンサドレの堀米選手・福森選手のトークショー、両選手サイン入りJAバンクグッズの当たる「じゃんけん大会」を実施しました。JAさつぼろの「ローン相談コーナー」も設置し、JAバンクを広くPRできました。



「JAバンクを多くの人に知ってもらうため、昨年11月に札幌駅前地下歩行空間でPRイベントを行いました。」



## ホクレン

LINE@等を活用した生産者向け情報発信サービス「ホクレンインフォメーション」は、生産者の皆様に向けたイベントや新商品情報、生産資材（飼料や農薬等）価格、乳価等の営農情報をタイムリーに発信しています。



登録はこちら↑

今後は市況情報やAコープのキャンペーン情報の発信も予定。生産者の皆様に役立つ情報を発信して参ります。お手持ちのスマートフォンやPC (<http://hokuren-news.jp/>) からご登録ください。

## JA共済連北海道

住宅等の建物修理で、共済（保険）請求を悪用したトラブルが全国で多発、消費者相談センター等へ相談が増えていますので十分にご注意ください。  
不正修理業者が自然災害事故を装い「共済金（保険金）が出るので自己負担無しで修理ができる」という内容で高額な見積り金額の契約を交わし、解約すると高額な違約金を請求される場合があります。トラブル防止のためには、建物関係の事故が発生した場合、まずご加入先のJAへお問合せ下さい。

## JA北海道厚生連

【旭川厚生病院で「土曜ドック」を！】

旭川厚生病院では、男性の方を対象として、隔週土曜日に人間ドックを実施しています。午前中に全ての検査が終了し、検査結果は受診日から1週間ほどでお届けします。前立腺がんや肺ドックなどのオプション検査も可能です。  
随時予約を受け付けておりますのでお電話でお問い合わせください。

※完全予約制

（TEL）0166-331-7171（内）2146・2198





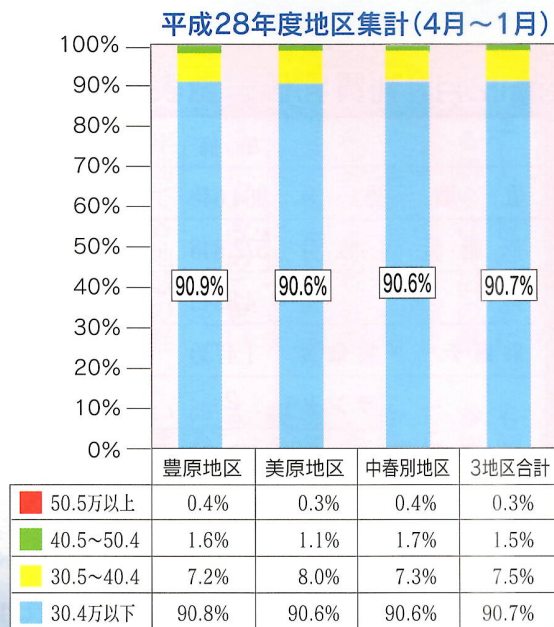
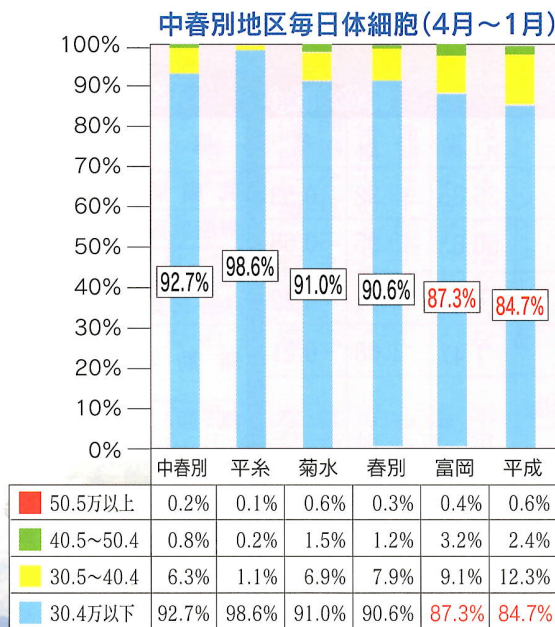
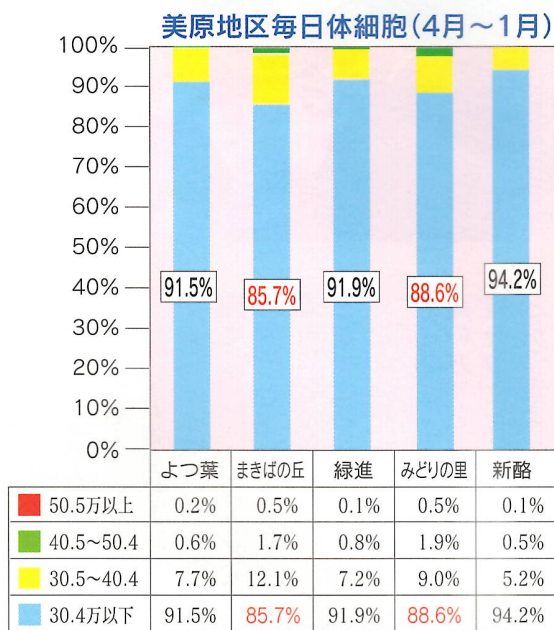
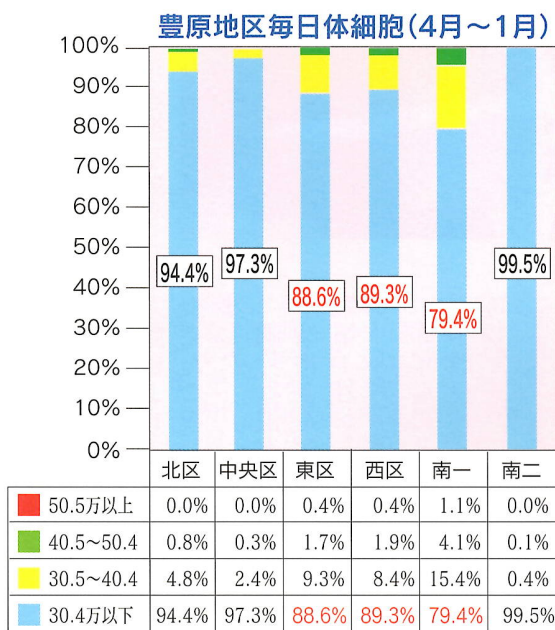


生乳汚染事故を無くそう！

- **抗生物質混入事故**..... JA中春別発生件数 **3**件 管内合計では**8**件です。
- **生菌による汚染事故**..... JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。
- **異物混入(小動物)、加水、血乳による汚染事故**... JA中春別発生件数 0件 管内合計では**4**件です。
- **異臭、異常風味による汚染事故**..... JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。

## ミルカーの装着前、後に必ず確認!! “牛名板”

良質生乳生産推進委員からの標語





# 乳牛改良技術の 更なる向上を目指し

第29回中春別乳牛改良同志会定期総会



第29回中春別乳牛改良同志会定期総会が、1月20日(金)白樺食堂において行われました。  
総会の開催に先立ち平成28年度新規エクセレント獲得並びに特別賞授賞式が行われ、エクセレントを獲得された寺澤信さん、橋本幸二さん、久保光大さん、竹田潤さん所有の牛達が表彰されました。続いて特別賞として自家生産牛七代エクセレントを達成された橋本幸二さん、全道共進会への同一牛5年連続出品を達成した浮川優さん、また府県においてエクセ



レントを獲得された繁殖者として宗像宏充さんが繁殖者賞を受賞され、それぞれ記念品の贈呈が行われました。  
総会の開催にあたり竹田会長より1年を振り返り、

新年度に向けた挨拶が述べられました。引き続き農協を代表して小湊組合長、来賓の方々を代表して(二社)ジェネティクス北海道道東事業所次長の氏平健太郎様より、酪農情勢を交えたご祝辞をいただきました。  
議長には中春別地区の佐々木靖裕さんが選出され議案第1号から議案4号まで可決承認されました。  
昨年度の各事業として乳牛改良技術のさらなる向上を目指し「視察研修会」、「講習会」などが開催され、「管内バーンミーティング」や「育成に関する講習会」への参加を通じ、情報や技術を共有するために積極的に活動されました。各種ショウや共進会においても中春別ホルスタインが活躍し、新規エクセレント6頭を含む累計226頭となり、日頃の乳牛改良の成果が実を結ばれました。  
総会終了後、懇親会が行われ、会員及び関係機関の方々との親睦が続きました。盛会のうちに終了することができました。

## 12月 乳質乳価一覧表

(単位:円/kg)

## 12月分乳代支払単価

		単価	算出基礎	支乳	前年	差	項目	単価(円)/kg%		
乳脂肪分		904.640		36.85	36.32	0.53	乳脂肪分①	36円85銭		
無脂乳固形分		572.848		50.63	49.95	0.68	無脂乳固形分②	50円63銭		
補給金		4.8943		4.89	5.11	-0.22	補給金③	4円89銭		
計画チーズ奨励金		1.4730		1.47	1.68	-0.21	チーズ奨励金④	1円47銭		
乳質単価	生菌数	ランク1	2	303,188,174.9kg	3.74	3.77	-0.03	脂肪率	全道	4.07%
		ランク2	0	8,250,219.0kg				農協	4.14%	
		ランク3	-3	203,600.9kg				無脂固形分率	全道	8.84%
	体細胞数	ランク1	2	273,434,533.7kg			農協	8.80%		
		ランク2	1	20,121,235.2kg			成分乳価	全道	93円84銭	
		ランク3	-2	3,266,019.0kg			①+②+③+④=⑤	農協	94円25銭	
合計				97.58	96.83	0.75	乳質乳価⑥	全道	3円74銭	
							乳代合計	全道	97円58銭	
							⑤+⑥	農協	97円86銭	
								差異	0円28銭	



## 第11回 理事会の動き

平成28年12月26日(月)

### 議 案

1. 出資金の譲渡について
2. 組合員の法人設立に伴う取引開始について
3. 平成28年度(補正)畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業に係る資金の借入・貸付について
4. 平成28年度(補正)畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業に係る機械導入について
5. 平成28営農年度クミカン取引に係る貸越極度額及び供給限度額の変更について
6. 平成29営農年度クミカン取引計画に係る貸越極度額及び供給限度額の認定について
7. 平成29営農年度機械利用組合クミカン取引計画に係る貸越極度額及び供給限度額の認定について
8. 平成29営農年度クミカン暫定取引について
9. 生活クラブ連合酪農体験の実施について

### 報告事項

1. 組合員の加入について
2. 組合員の脱退について
3. 北海道常例検査の実施について
4. (一社)北海道農協経営審査協会による内部審査報告書について
5. ホクレンの異常気象に伴う特別対策について
6. 平成28年度11月末営農生産関連実績について
7. 平成28年度草地難防除雑草駆除対策事業に係る実績について
8. 平成28年度糞尿利活用草地整備改良事業に係る実績について
9. 平成28年度集荷路線除雪について
10. 平成28年度みらい塾修了式並びに平成29年度入講式について
11. 組合員の離農処理について
12. 特定疾病感染補償互助会の支払について

## 第12回 理事会の動き

平成29年1月26日(木)

### 議 案

1. 平成28年度自己査定に係る債務者区分判定方法について
2. JA畜産等経営資金の創設について
3. (株)なかしゅんべつ未来牧場宿泊棟(休養施設)に係る信連資金の借入について
4. 平成29営農年度クミカン暫定取引について
5. 平成29営農年度財産造成に伴う資金の借入・貸付について
6. 平成29営農年度特定指導組合員及び月別限度管理組合員(案)について
7. 固定資産の取得について

### 報告事項

1. 組合員の加入について
2. 組合員の脱退について
3. 平成28年度12月末財務状況について
4. 平成28年度12月末購買事業実績について
5. 北海道常例検査の終了について
6. 平成28年度飼料奨励金(農協利用奨励・大口取引奨励)の支出について
7. 平成28年度免税軽油利用奨励金の支出について
8. JAバンク北海道年末特別推進運動「みんなでおいしい北海道ドダウン貯キャンペーン」の実績について
9. 平成28年度12月末営農生産関連実績について
10. 平成28営農年度クミカン精算状況について
11. 平成29営農年度階層区分について
12. 平成28年度自給飼料生産性向上対策事業に係る実績について
13. 共和育成牧場預託牛事故に係る互助会規程による見舞金の支払について

### 協議事項

1. 農事組合法人中春ミルクファーム役員の変更について



# 組合員の 広場



作品名「夕帰翔」by南澤三郎



作品名「野付半島の夕刻」by南澤三郎

今日の組合員の広場は「写友 北風」の作品を掲載いたしました。  
組合員の広場では習字や俳句、短歌、絵画、写真など多数の作品を募集  
しております。尚、農振興課・丸山までお気軽にご連絡ください。